

草花活用

| 使用教科書 | 単位数 | 学年・学級・学科・選択名等 |
|--------------|-----|---------------|
| 草花（実教出版株式会社） | 2 | 3年（選択E） |

1 学習の到達目標

| | |
|---------|---|
| 学習の到達目標 | <p>草花の栽培及び管理に必要な基礎的知識と技術を習得し、草花の特徴や管理方法、栽培技術、活用方法を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草花のもつ特性を理解しその鑑賞性を高めるための栽培技術を基礎から学ぶ。 ・前年度の学習成果を発揮し基礎技術の反復と応用技術の習得を目指す。 ・草花園芸に求められる品質向上に向けた課題に取り組む探究心を養う。 ・学習全般を通して基礎学力の向上を目指す。 |
|---------|---|

2 学習計画

| 学期 | 月 | 単元の学習内容 | 時数 | 単元のねらい | 評価の観点 | | | | 評価方法 | |
|----|--------|---|----|---|-------|---|---|---|----------------------|-------|
| | | | | | ① | ② | ③ | ④ | | |
| 前期 | 4 | 授業オリエンテーション 草花の授業にあたって | 2 | | ○ | | | | 授業への取り組み姿勢 | |
| | | 花壇用の草花、栽培管理実習 花壇用草花生産の特色 花壇用草花の種類 草花の役割 草花の種類 草花生産の消費と動向 | 4 | 各種、花壇苗（パンジー、ビオラ、マリーゴールド、サルビア、ペゴニア等）の栽培学習。草花生産の特色、管理方法、種類などを身につける。 | ○ | ○ | ○ | ○ | 実習への取り組み姿勢 記録簿の提出 | |
| | 5 | 花壇造成実習 | 4 | 花壇造成に適した草花の選定と、花壇設計、造成方法を学び草花生産の現状や消費動向を理解し身につける。 | ○ | ○ | ○ | | 記録簿の提出 | |
| | | 花壇用草花の定植実習・一般管理 | 4 | 様々な容器や、場所を利用したプランターを作り、定植方法やデザインについて学ぶ。 | ○ | ○ | ○ | | 記録簿の提出 | |
| | 6 | シクラメン・球根ペゴニアの移植実習 | 4 | 通年で学習している鉢花の、移植実習を通して鉢花の特色や栽培方法を学ぶこと。 | | | ○ | | 記録簿の提出 | |
| | | 草花生産と消費の動向 | 4 | 草花生産と経営の特徴を理解する | | | | ○ | | |
| | 前期中間考査 | | | | | | | | ○ | ノート提出 |
| | 7 | 切り花・フラワーアレンジメント実習 | 4 | 切り花生産の基礎的な栽培技術を学ぶ。また切り花の利用方法について学ぶ。 | ○ | | ○ | | 記録簿の提出 | |
| | 8 | シクラメン・球根ペゴニア・ニューギニアインパチェンスの管理実習 | 4 | 一般管理・栽培的特性・経営的特性を学び、コストの低減や省力化への取組みについて学習する。 | ○ | | ○ | | 記録簿の提出 | |
| | 9 | 切り花の栽培管理・収穫実習 | 4 | 切り花生産の基礎的な栽培技術を学ぶ。また切り花の利用方法について学ぶ。 | ○ | | ○ | | 記録簿の提出 | |
| | | シクラメンの管理実習 | 4 | シクラメンの枯れは取りを出来るようになる。 | | | ○ | | 記録簿の提出 | |
| | 前期期末考査 | | | | | | | | ○ | ノート提出 |
| 後期 | 10 | シクラメンの管理実習 | 8 | シクラメンの枯れは取り・葉組みを出来るようになる。 | ○ | | ○ | | 記録簿の提出 | |
| | 11 | 栽培環境について | 4 | 様々な草花の栽培環境の違いや特徴について学習し、施設の機能・構造とその利用について学ぶこと。 | ○ | | | ○ | 記録簿の提出 | |
| | 後期中間考査 | | | | | | | | ○ | ノート提出 |
| | | 生活と草花の利用 | 2 | 草花が生活場面でどのように利用されているかを学ぶ。 | ○ | ○ | | ○ | 記録簿の提出 | |
| | 12 | 冬の草花の管理実習（プリムラ・ペチュニア・シクラメン） 花壇花播種・移植作業 | 6 | 冬の草花の利用方法について学習し、その栽培方法の特徴や栽培管理の方法、付加価値を付ける為の方法、利用方などについて学習する。 | ○ | ○ | ○ | | 実習への取り組み姿勢 記録簿の提出 | |

| | | | | | | | |
|-------------|----------|---|------------------------|---|---|---|-------|
| 1 | 鉢物の生産の特色 | 3 | 鉢物の経営的特色・栽培管理の特色を理解する。 | ○ | ○ | ○ | |
| 後 期 期 末 考 査 | | | | | | ○ | ノート提出 |

3 評価等について

| 項 目 | ①関心・意欲・態度 | ②思考・判断 | ③技 能 | ④知識・理解 |
|-----|---|---|---|--|
| 内 容 | 我が国の草花栽培について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組む。 | 草花栽培に関する課題の解決を目指して考え、適切に判断し、自分の考えを表現する能力を身に付けている。 | 草花栽培に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、計画を立て、技術を活用できる。 | 草花栽培の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、草花栽培の意義や役割を理解している。 |
| 割 合 | 20% (点) | 10% (点) | 10% (点) | 60% (点) |

4 履修にあたっての注意事項

- (1) 4月～1月にかけて、座学と実習を平行して行います。
- (2) 実習に際しては、学校指定の実習服・帽子・長靴を正しく着用して臨むこと。
- (3) 座学に際しては、教科書・ファイルを毎時間持参すること。
- (4) 実習は危険を伴う作業をすることもあるため、指示を良く聞き、指示に従い、まじめに取り組むこと。

※ 以上の点を守れない場合には未履修になる可能性があるため、注意すること。

評価について

| 評価 | 評価点 |
|----|----------|
| 10 | 100 ～ 93 |
| 9 | 92 ～ 85 |
| 8 | 84 ～ 77 |
| 7 | 76 ～ 70 |
| 6 | 69 ～ 61 |
| 5 | 60 ～ 53 |
| 4 | 52 ～ 45 |
| 3 | 44 ～ 38 |
| 2 | 37 ～ 30 |
| 1 | 29 ～ 0 |

学年末評定について

| 評価 | 評価点 |
|----|----------|
| 5 | 100 ～ 85 |
| 4 | 84 ～ 70 |
| 3 | 69 ～ 45 |
| 2 | 44 ～ 30 |
| 1 | 29 ～ 0 |